

令和7年度 高千穂小学校 生徒指導基本方針

【複雑化する社会の変化】

予想の難しい社会の変革、多種多様な価値観の広がり、
不登校・不登校傾向児童の増加、将来への夢や希望

【学校教育目標】

心身ともに健康で、豊かな心と確かな学力をもち、自立しようとする高千穂の子どもを育成する

- (1) 互いに磨き合い、意欲的に学習に取り組み、理解を深め、学校に居場所を見いだすことができる子供を育成する。(居場所づくり)
- (2) 主体的に活動に取り組み、互いに認め合い、自己理解や相互理解を深め、学校生活を楽しみ、つながりを深めることができる子供を育成する。(絆づくり)



【生徒指導基本方針】

児童が行きたくなる！ 魅力ある学校づくり

- ・ 気持ちよい挨拶や素直な返事であふれている学校
- ・ お互いのよさを認め合う声であふれている学校
- ・ 助け合い、学び合う喜びで満ちている学校
- ・ 安心・安全で信頼に満ち、子供が満足できる学校
- ・ 地域に開かれた学校として、共に学び信頼される学校



全ての子供たちが

- 「自分という存在が大事にされ、認められている」と実感できる！
- 「心の居場所があり、教師や友達との絆がある」と実感できる！
- 「学校が自分にとって大切な意味のある場である」と実感できる！
- 「主体的・意欲的に取り組み、分かる授業・楽しい授業である」と実感できる！



全ての児童を支える「発達支持的生徒指導」の視点に立った魅力ある学校づくり

【具体策】

授業や学校行事等の教育活動において、

- ・ 一人一人が「キラリ」輝く場を設定する。
- ・ 互いを認め合い、磨き合う時間を位置付ける。
- ・ 自己指導能力を磨く活動に取り組む。
- ・ 非認知能力やメタ認知能力を高める活動（活動の可視化）に取り組む。
- ・ 学校生活を楽しみ、他者とのつながりを深める活動に取り組む。

